

ゲスト紹介



アメリカ合衆国から

アナベル・パクさん

アメリカ下院の「慰安婦」決議(H.RES.121)を推進するため、200以上の市民団体からなる「121連合」を結成、全米コーディネーターに。その傘下に、在米韓国・フィリピン系の市民団体、学生組織、教会などが加わり、全米に張り巡らされたネットワークを通して、各下院議員の地元選挙区を歩いて説得活動を繰り返した。その結果、本会議での採択前に、決議案への共同提案者は下院議員167人(全体435人)に達した。ドキュメンタリー番組の映画制作者として、動画サイトなどの新しいメディアを草の根市民運動に活用する草分けとなった活動家でもある。



ヨーロッパから

キャサリン・バラクロウさん

アムネスティ・インターナショナル国際事務局の東アジア担当。担当地域は韓国、北朝鮮、モンゴルおよび日本。欧州(EU)議会による「慰安婦」決議の背景となった「日本軍性奴隷制による生存者の正義を実現するキャンペーン」の責任者。アムネスティに入る前は、世界銀行のコンサルタントとして、韓国知識協力プログラムに取り組み、貧困削減と経済開発における財政の役割に関し、情報配布と知識共有を促進。オーストラリアのグリフィス大学卒業。韓国の中央大学で国際関係の修士号、アメリカのスタンフォード大学で東アジア研究の修士号をそれぞれ取得。



フィリピンから

ピラール・フロレンダ・フリアスさん

1926年、フィリピン・ルソン島のアニブ村で生まれた。15人兄弟の長子で長女。1942年、16歳の時に両親が留守の間にやって来た日本兵に顔をナイフで刺された上、強姦された。その後、村人は日本兵に退去を命じられ、一家は1944年までカブサオで暮らす。アニブ村に戻ってから1ヵ月後に他の村の数人の女性と共に日本兵に連行され、2ヶ月間毎晩のように複数の日本兵に強姦される生活を送る。アメリカ兵の侵攻で日本部隊が逃げた後に解放された。1992年、「慰安婦」だったことを告白したロサさんを報道で知り、事実を明らかにしようと決心して名乗り出た。

韓国では、自由に羽ばたきたいという思いから
蝶が「慰安婦」被害者のシンボルになっています



アメリカ合衆国から

エニ・フォレオマバエガさん

交渉中

米下院で「慰安婦」問題の「公聴会」を開き、決議を推進した外交委員会アジア太平洋環境小委員会の委員長。一九八九年からアメリカ領サモア代表として下院議員。

彼はインタビューに答え、「河野談話に敬意を払いますが、これが公式な謝罪とは思えません。国会が決議を上げ、首相がそれを政府の立場として表明する、それが謝罪です。米議会も第二次世界大戦中の日系人の強制収容について、議会の決議を上げ、大統領が署名し、日系人に謝罪しました。公聴会で証言した女性たちは、そうした公式謝罪によって尊厳を取り戻せるのです。それが歴史の責任を日本が受け入れるということです」と発言している。



ヨーロッパから

ジーン・ランバートさん

交渉中

緑の党所属。欧州議会での慰安婦問題に関する決議採択で、中心となった人物。アムネスティ・インターナショナルがオーガナイズした運動で、元慰安婦たちの話を聞き、それに心を動かされたのがきっかけとも。決議が実現したとき彼女は、「ヨーロッパは、日本が第二次世界大戦における性的な奴隷制度への責任を引き受けるよう呼びかけます。『慰安婦』たちは62年にわたって正義を待ちつづけています。多くが孤立し、恥と極端な貧困、病気によって人生を損なわれつづけています。長い年月を経て正義が実現できれば、現在各地で起こっている紛争時の暴力と性的虐待を解決するものになるでしょう」と表明。

賛同のお願い

今年3月、これまでこの問題に関わってきた人たちが相談し、「慰安婦」決議の呼びかけに応える関西フォーラム実行委員会を立ち上げました。そして、アメリカ議会決議から1年を迎える時期に、各国議会決議に尽力された方々をお招きして日本世論を喚起し、政府や国会を動かす取り組みを行いたいと考えました。アメリカからは市民活動家のアナベル・パクさん、ヨーロッパからはアムネスティ・インターナショナルのキャサリン・バラクロウさんを、また各々の決議のために尽力された議員も共に来ていただくようお願いしました。皆さん趣旨を理解していただき、快く招請に応じてくださいました。また、フィリピンからも被害者であるピラール・フロレンダ・フリアスさんが来てくださることになりました。

言うまでもなく、こうした取り組みには多大の費用を要しますが、私たちの思いに「アジア・太平洋地域の戦争犠牲者に思いを馳せ、心に刻む集会」実行委員会が応じてくださり、招請費用の協力を約束して下さったことで、東京、福岡、札幌、名古屋へと集会開催の動きが広がっています。

こうした取り組みを、さらに国会へとつなげ、総力を挙げて「慰安婦」被害者への謝罪と賠償を行う法律の制定を目指したいと思います。何の誠意も見せない日本政府に苛立ち、「あんたたちは私たちがみんな死ぬのを待っているのか」と叫んだ被害者の言葉が、現実のものとなりつつあります。

また、被害者の方々が異口同音におっしゃるのは「次の世代にこんなことが二度とあってはならない」ということです。日本軍性奴隷制問題の解決は、被害者の尊厳の回復と共に、戦争や暴力のない、平和な社会の実現へつながる道です。

実行委員会は個人で構成されており、多くの方々のご協力なくしてこの企画は実現できません。関西フォーラムとしては、約100万円の集会開催費用を必要としています。一人でも多くの方がこの趣旨に賛同し、ともにこの企画を支え、担ってくださることを切にお願い申し上げます。

■賛同金の送付には、下の郵便振替用紙を切り取ってお使いください。

〈各地に広がった今回の取り組み〉

8月7日(木)	国会における議員との交流会(議員会館)		
8月8日(金)	東京市民集会	連絡先 03-3712-5202	谷川
8月9日(土)	名古屋市民集会	連絡先 090-1239-1410	宮西
8月11日(月)	福岡市民集会	連絡先 092-713-1879	花房
8月11日(月)	札幌市民集会	連絡先 011-231-4157	川口

(ご注意)
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。
また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の振込機能付ATMでもご利用いただけます。

・この払込書をゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証等を必ずお受け取りください。

・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
3万円以上
貼付
印

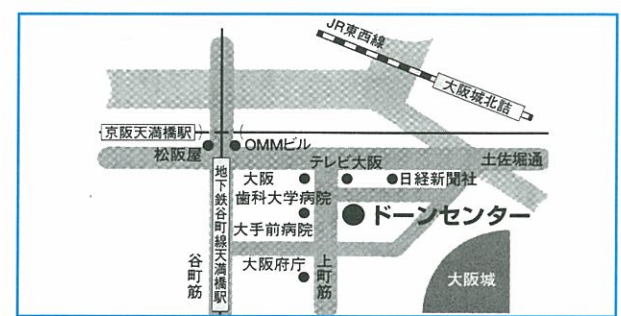
この場所には、何も記載しないでください。

関西フォーラム 「慰安婦」決議に応え 今こそ真の解決を!

～被害者に名誉と尊厳を一戦時性暴力の根絶のために～

2008年 8月10日(日) 第1部 AM10:00 ~ 12:00
第2部 PM 1:00 ~ 4:00

ドーンセンター 7階大ホール
(大阪府立女性総合センター)



大阪府中央区大手前1丁目3番49号 TEL06-6910-8500
アクセス
・京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を通過して1番出口より東へ350m
・地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ350m
・JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ550m

入場料 : 一般 1,300円 (前売り1,000円)
: 中高生 500円

主催: 「慰安婦」決議の呼びかけに応える関西フォーラム実行委員会

〒540-0038 大阪市中央区内淡路町1丁目 3-11 シティコープ上町 402 (SORA 内) TEL: 06-7777-4935
郵便口座振替口座 00960-9-320590 「慰安婦」決議関西フォーラム FAX: 06-7777-4925
携帯: 080-6911-5776

協力: 「アジア・太平洋地域の戦争犠牲者に思いを馳せ、心に刻む集会」実行委員会

払込取扱票																			
口座番号		百		十		千		百		十		千		百		十		円	
00		0	0	9	6	0	9	3	2	0	5	9	0						
加入者名	「慰安婦」決議関西フォーラム																		
金額	料金																		
備考	備考																		
通信欄・ご依頼人	<p>※(1・2の合計を、上の金額欄に記入して下さい。)</p> <p>1. 「慰安婦」決議に応える関西フォーラムに賛同します。 <氏名公表可・不可></p> <p>個人一口 1000円× □ = 円</p> <p>団体一口 3000円× □ = 円</p> <p>2. 8.10のフォーラムのチケットを注文します。</p> <p>前売り 1000円× 枚 = 円</p> <p>中高生 500円× 枚 = 円</p> <p>フォーラム賛同チラシ 枚送付希望(広報にご協力頂ける方は左に枚数を記入して下さい)</p>																		
日付	日 附 印																		
サイン欄	お名前																		

お手数ですが、左の振込用紙を切り取ってご使用ください

振替払込請求書兼受領証

口座番号	009609320590																	
加入者名	「慰安婦」決議関西フォーラム																	
金額	おなまえ																	
ご依頼人	消費税込																	
料金	日 附 印																	
備考	この受領証は、大切に保管してください。																	

「慰安婦」決議に応え 今こそ真の解決を!

～被害者に名誉と尊厳を一戦時性暴力の根絶のために～

趣意書

みな様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、ご存知のように、昨年7月、アメリカ議会は「慰安婦」問題について「日本政府は、明瞭かつあいまいさを留めない形で公的に承認し、謝罪を行い、歴史的責任を受け入れるべきである」とする決議を全会一致で採択しました。11月にはオランダとカナダで、12月には欧州議会で同様の決議が採択されました。

日本政府が被害者である女性たちに公式謝罪も補償もせず、教科書からその記述を削除し、無かったことにしようとしていることに対し、世界各国で批判の声が高まっています。ここに至るまで、各国被害当事者と関係者の並々ならぬご尽力がなされたことに心より敬意を表します。

しかし、日本政府はこうした声に一切応えようとしていません。そればかりか、被害女性たちからの「二度と戦争をしてはいけない」という声をよそに、かつての戦争の残酷な事実を歪曲・美化し、憲法9条改悪を推し進め、再び戦争への道を突き進もうとしています。

被害者たちは、正義が実現するその日を見ることなく、次々と亡くなられています。私たちは、日本軍性奴隷問題を過去の一時期の問題としてだけでなく、今現在も世界のあらゆる戦場や紛争地でくり返されている女性への暴力を象徴するものにとらえ、「慰安婦」問題の解決こそが女性への暴力を断ち切り、平和を実現する道であると信じます。

こうした女性への人権蹂躞を許さないという立場から、さらに他の国々でも議会決議を実現するための努力が続けられています。日本ではこうした努力の結実として、去る3月26日、兵庫県宝塚市議会が全会一致で意見書を可決することで、日本軍「慰安婦」問題解決の芽を芽吹かせました。

これらの成果と努力を活かすため、私たちは全力で問題の解決にあたっていく思いをあらたにしています。日本政府が真の謝罪と賠償を実現するその日を、被害者の方々と共に迎えるために残された時間はわずかです。

アメリカ議会決議一年を迎え、8月10日、アメリカ議会と欧州議会で決議に努力された方々をゲストに迎え、関西フォーラムの開催を予定しています。そして11月に東京で開催される第9回アジア連帯会議につなげていきたいと考えています。

つきましては、皆様方の趣旨への賛同とご協力を心よりお願いする次第です。

2008年6月6日

「慰安婦」決議の呼びかけに応える関西フォーラム実行委員会

- 呼びかけ人■
- 浅野健一、有元幹明、栗井栄治、井口成子、池内靖子、石川康宏、市場淳子、任隆正、上杉聡、上野邦子、大越愛子、岡真理、小笠原信実、加来洋八郎、川瀬俊治、康宗憲、金京子、金桂仙、清未愛砂、申千玉、高連玉、繁村和寿子、志水紀代子、新屋英子、田中ひろみ、田間泰子、趙明子、塚崎昌之、戸塚悦朗、中川加代子、西村寿美子、原田恵子、朴一、方清子、黄河春、藤井幸之助、藤永壯、藤目ゆき、古久保さくら、増永和起、松岡環、松村徳子、源淳子、本岡昭次、森屋裕子、山下英愛、山野善子、梁路子、劉由子、吉岡折子、六田美智子 (50音順)